

大気環境の改善に取り組む

川崎市は「川崎新時代2010プラン」の新・中期計画に南部地域大気環境改善対策の推進を掲げており、南部地域を中心として、大気や沿道環境の改善を図るため、土壌浄化システムの設置、沿道緑化、大気汚染監視測定網の充実強化などの対策を推進することとしています。

本モデル施設は、川崎区・池上新田公園の植栽地土壌をフィルターにして空気を浄化する装置です。自動車排出ガスによって汚染された大気を道路端から吸込み、オゾンを加えて土壌に通し、窒素酸化物(NO_x)や硫黄酸化物(SO_x)、浮遊粒子状物質(SPM)を土壌に吸着させ、土壌に生息する微生物によって分解・浄化し、きれいになった大気を地上に放出します。

